

「夏期講習」の活用方法

夏期講習は大切です。受験生のみなさんは今までの復習や苦手な単元の補強、受験に向けての更なる実力アップなど、それぞれの目標に向かって進んでいくのみです。受験生以外の生徒さんも、夏休みの期間の過ごし方に注意が必要です。部活や習い事で毎日が忙しい中学生や高校生は、それだけに満足して勉強が疎かになりがちです。そもそも勉強は一度きりで完璧に身につけることはできません。苦手なものはもちろん、しっかりできるようになったものさえ、復習しなければ忘れてしまいます。

そして、学習の内容にはつながりがありますから、復習することは、その先に習う新しい内容の理解も助けます。その点でも復習は効率的な学習です。しかし、学校がある普段の生活では、復習のためのまとまった時間を確保することがなかなか難しくなります。その点、夏休みはいろいろやる必要がありますが、多くの生徒さんにとって、復習の時間をつくりやすい期間だと言えるでしょう。

また、夏休みはさまざまな予定があるからこそ、しっかり計画を立てましょう。数日間で集中的に復習する、というのも有意義ですが、定期的にベストで授業の予定を組み、学習習慣のペースを乱さないようにしてください。今回は中学生を中心に夏期講習の活用方法をお伝えします。小学生・高校生のみなさんにも役立つはずです。

＜中学1年生＞

中学校の生活には慣れたでしょうか。中1ギャップということばを聞いたことはありますか？小学生の頃よりも学習の内容が難しくなったり、思っている以上に忙しくなったり…日々の生活をこなすのに精一杯という人も多いのではないのでしょうか。

逆にギャップがなかった人で『まだ始まったばかりだし、今のところ簡単だからそんなにがんばらなくても何とかなる』と考えている人も要注意です。どんな時でも毎日コツコツ勉強を続けた人が成績upすることに例外はありません。特に1ヶ月後に来る“夏休み”。その夏休みの過ごし方は今後を左右するほど、大切な期間なのです。



★夏期講習の活用方法としては、①規則正しい生活の確保、②1学期中にできなかった単元の復習、③2学期の予習、の3つがおすすめです。夏休み中に弱点を克服した人・2学期の先取りをした人は、2学期以降の勉強がかなり楽になると思います。意識して取り組んでみてください。

<中学2年生>

中2の夏休みは「高校入試にむけた受験勉強のスタート」です。受験勉強のスタートを幸先よく切るためには、中2の夏休みを充実したものにできるかどうかにかかっています。例えば、中学校への提出物は期日までに必ず提出するようにしましょう。

また、少しずつ目標を決めておくことも大切です。都立高校第一志望なら理科・社会の勉強も定期テスト勉強だけにとどまっていたはいけないわけです。私立の難関校を目指す人は、この時期から英語・数学の厚みのある実力養成が必要です。そういう意味で大まかな高校受験のターゲットが決まると、計画を立てるときのしっかりした目安となります。

★夏期講習の活用方法としては各教科の弱点克服や学力の底上げです。科目的には英語・数学・国語を重点的に取り組むとよいでしょう。部活動などが忙しい人は、あまり欲張らずに実現可能な計画を立てて確実な達成ができるようにしましょう。

※中学1～2年生で特に目標が立てられないという人は、秋の検定(漢検・英検・数検)を1つの目標にして対策に取り組んでみてもよいかと思います。ベストで対策授業も受講できます。



<中学3年生>

この時期の中3受験生は「チャレンジ校」・「目標校」・「相応校」など志望校がある程度、絞り込んでいきます。学校見学会・説明会が各高校で予定されています。予約が必要な学校もあるので要注意です。早くから情報を収集することも大切です。また、偏差値の出る塾内テストや会場テストで現在の自分の学力を正確に判定することも重要です。テストを受けるときも適当に受けてはいけません。本番を意識して取り組むことはもちろん、受け終わった後の解き直し+わからなかったところの復習は絶対におきましょう。

夏休みは受験勉強の天王山とも言われ『夏を制するものは受験を制す』です。気を引き締めて生活していきましょう。



★夏期講習の活用方法としてはまず中学1～2年生の総復習と問題慣れ(アウトプット)です。入試の約6割は中学1～2年生の範囲から出題されます。ここができていなければ高得点は狙えません。わかっているけど問題慣れしていないだけという生徒さんが毎年います。受験で言い訳は通用しません。夏期講習でたくさん問題演習をしていくことをおすすめします。

受験生のみなさん、夏期講習がんばりましょう。

学習の内容や進め方など心配な生徒さんは、すぐに教室長までご相談ください。